

# meiji 駿台倶楽部会報

明治大学野球部OB会ニュース

発行 駿台倶楽部  
 会長 吉川 芳登  
 府中市若松町5-6-1  
 明治大学野球部合宿所内  
 電話番号(042)313-4134  
 FAX番号(042)364-5605

## リーグ100周年はmeijiの年に



14年ぶり優勝決定戦  
 早大に零封負け2位

リーグ100周年は戸塚体制で優勝を目指すことになった。5年間監督を務め戦後初の3連覇、秋の日本一を達成するなど野球部に新たな歴史を刻んだ田中武宏氏が退任、助監督の戸塚俊美氏が新監督に就任した。木本圭一内野手（桐蔭学園）が主将となりチーム一丸となって4シーズンぶりの優勝を目指す。

昨秋はリーグ戦で早大に勝ち点を落とし14年ぶりとなった優勝決定戦でも早大に零封負け。悔しい2位で終了した。今季は打倒早大、3連覇阻止が目標となる。「守りの野球」を目標とする戸塚新監督はエース作りに着手。高須、毛利、久野、大川ら最上級生となる投手陣に期待がかかる。打線も国際大会MVPのドラフト候補・小島大河捕手、昨秋4本塁打の木本主将、3、2年生にも有望な選手が育っており、他校にひけをとらない布陣となる。

ドラフトでは宗山塁主将が1位入札で5球団競合となり楽天に決定。MAX153キロ腕の浅利太門も日本ハムに3位指名。明治からは15年連続のドラフト指名となった。また三菱重工West入社3年目の竹田祐投手もDeNAから1位指名を受け入団した。

今季の優勝を誓う（左から）木本主将、戸塚監督、吉川会長



# 木本組で「奪冠」



## 副主将3人 小島大河、衛藤晃太、瀬千皓

今季の幹部（左から）副主将の瀬、衛藤、木本主将、本岡主務、小島副主将。打撃でも打線の中核を担う木本

新チームの幹部が決定、主将には木本主一内野手が就任した。副主将には小島大河捕手（東海大相模）衛藤晃太内野手（大分舞鶴）瀬千皓外野手（天理）の3人が選ばれ優勝目指してスタートを切った。

リーグ結成100周年「四冠を目指したい」

「昨年獲れなかったリーグ優勝と日本一。春秋連覇に秋の神宮大会も含め四冠を目指したい。個人的にはベストナインを狙っています」

春秋連覇を許した早大も含め慶大、立大は投手陣が残り法大は桐野シニア桐蔭学園と6年間チームメイトだった松下歩叶が主将に就任した。負けたくない思いはさらに大きくなった。

木本を支える副主将の小島も思いは同じ。大学日本代表の4番を務め打撃は一級品。3季連続3割超え、通算打率・337と安定感抜群だ。今季はクリーンアップが予想され、バッテリ強化も含め期待は大きい。「日本一と個人は三冠王」と言葉に力を込める。絶対エースがないチーム事情、小島がどう投手陣をまとめるのか優勝への鍵を握る。

本岡里空主務就任 チームの顔として 自覚と責任持つ

「主務に就任した本岡も決意を新たにした。昨年はあと一歩で優勝を逃し悔しい思いをしました。今年こそ四冠目指していきます。私もチームの顔として自覚を持ち進んでいきます」と話した。リーグ100周年のメモリアルイヤーに本岡主務の手腕にも注目だ。

▽本岡里空主務の話 1年間、チームの顔として自覚と責任も持って精進します。

【他の幹部】寮長 中村凌輔（鎌倉学園）吉田匠吾（浦和学院）学生コーチ 遠藤雄介（広島商）八幡優介（明大中野）

立大戦で3失策 未熟さが露呈

フレッシュトーナメント（新入戦）が早慶戦後の11月11日から行われ、B組に入った明大は初戦で3失策など未熟さが露呈して立大に大敗。2戦目は田上の本塁打を含む3打点の活躍で早大を下し1勝1敗。3・4位決定戦に回り、法大とは5・5で引き分けた。期待の湯田が5失点と精彩を欠いた。

静岡で行われたフレッシュ・オータムリーグでは八谷の2ラン、若狭の3ランで立大に5-10の快勝。東海大静岡キャンパス戦では6回に3点、7回には10得点と終盤に打線が爆発して大勝。高校生との交流戦では静岡商と対戦。時間制のため最終回となった8回に逆転されたがその裏、岡田が同点2ランを放って引き分けに終わった。

フレッシュ・オータムL 八谷&若狭弾立大に雪辱

# 東京六大学2024年秋季L Play Back



9月21日神宮①明大1勝  
明大000 000 0010  
東大000 000 0000

9月22日神宮②明大2勝  
東大000 000 0000  
明大000 200 01X3

9月28日神宮①1分  
明大100 010 0103  
慶大000 020 0013

9月29日神宮②明大1勝1分  
慶大000 000 0000  
明大030 030 20X8

9月30日神宮③明大2勝1分  
明大000 000 10012  
慶大000 000 00101

初戦ヒヤリ  
＜東大＝2勝＞1回戦は大苦戦。8回まで下手・渡辺に8回まで無得点。9回に連盟タイとなる10安打を集め10点を挙げ先勝した。2回戦も東大投手陣から3得点。先発毛利が7回零封して逃げ切り連勝した。

打線爆発!!  
＜立大＝2勝1敗＞1回戦は先発・毛利が満弾を浴びるなど逆転負け。2回戦は打線が13安打8点、投げては藤江が6回零封で快勝した。3回戦は神原、木本、宮田の本塁打などで打線が爆発し大勝、3カード連続で勝ち点を挙げた。

激闘制した  
＜慶大＝2勝1分＞1回戦は9回2死から同点弾を浴び引き分け。2回戦は神原、宗山の本塁打などで8点を奪い快勝。3回戦は延長戦にもつれ込み、10回に木本が決勝ソロを放って決勝をつけた。この試合で高須が右ヒジを痛め降板した。

決定打欠き  
＜早大＝1分2敗＞1回戦は2回に失った3点が重く1点差の敗戦。2回戦は延長12回勝負のサヨナラ勝ちを生かせ

崖っ縁連勝  
＜法大＝2勝＞1敗すればV逸の瀬戸際。1回戦は7回の宮田の本塁打などで挙げた得点を4投手のリレーで守って先勝。2回戦は6回2死無走者から木本の3ランなどで逆転。5投手のリレーでリードを守り切り連勝。勝ち点4を挙げた。

零敗でV逸  
＜優勝決定戦＞リーグとしては14年ぶり、明大は1948年以來の決勝となった。慶大に連敗した早大だったがエース伊藤樹が安定した投球。明大打線はわずか3安打に抑えられ零封負け。3シーズンぶりの優勝はならなかった。

10月12日神宮①立大1勝  
明大210 001 0004  
立大050 000 000X4

10月13日神宮②1勝1敗  
立大000 000 0011  
明大301 022 00X8

10月14日神宮③明大2勝1敗  
明大000 340 6021  
立大000 000 0101

10月19日神宮④早大1勝  
明大000 010 0012  
早大030 000 00X3

10月20日神宮⑤早大1勝1分  
早大0000030000003  
明大0000003000003

10月21日神宮⑥早大2勝1分  
明大000 000 0000  
早大001 100 00X2

11月3日神宮①明大1勝  
明大000 000 3014  
法大000 000 2002

11月4日神宮②明大2勝  
法大010 001 2004  
明大000 104 01X6

12日神宮 優勝決定戦  
明大000 000 0000  
早大010 030 00X4

11月3日神宮①明大1勝  
明大000 000 3014  
法大000 000 2002

11月4日神宮②明大2勝  
法大010 001 2004  
明大000 104 01X6

10月19日神宮④早大1勝  
明大000 010 0012  
早大030 000 00X3

10月20日神宮⑤早大1勝1分  
早大0000030000003  
明大0000003000003

10月21日神宮⑥早大2勝1分  
明大000 000 0000  
早大001 100 00X2

10月12日神宮①立大1勝  
明大210 001 0004  
立大050 000 000X4

10月13日神宮②1勝1敗  
立大000 000 0011  
明大301 022 00X8

10月14日神宮③明大2勝1敗  
明大000 340 6021  
立大000 000 0101

10月19日神宮④早大1勝  
明大000 010 0012  
早大030 000 00X3

10月20日神宮⑤早大1勝1分  
早大0000030000003  
明大0000003000003

10月21日神宮⑥早大2勝1分  
明大000 000 0000  
早大001 100 00X2

10月22日神宮⑦明大1勝  
明大000 000 0000  
早大000 000 0000

10月12日神宮①立大1勝  
明大210 001 0004  
立大050 000 000X4

10月13日神宮②1勝1敗  
立大000 000 0011  
明大301 022 00X8

10月14日神宮③明大2勝1敗  
明大000 340 6021  
立大000 000 0101

10月19日神宮④早大1勝  
明大000 010 0012  
早大030 000 00X3

10月20日神宮⑤早大1勝1分  
早大0000030000003  
明大0000003000003

10月21日神宮⑥早大2勝1分  
明大000 000 0000  
早大001 100 00X2

ず引き分けに終わった。3回戦は7安打しながら決定打が奪えず零封負け。勝ち点を奪えず優勝争いから後退。

11月3日神宮①明大1勝  
明大000 000 3014  
法大000 000 2002

11月4日神宮②明大2勝  
法大010 001 2004  
明大000 104 01X6

12日神宮 優勝決定戦  
明大000 000 0000  
早大010 030 00X4

10月19日神宮④早大1勝  
明大000 010 0012  
早大030 000 00X3

10月20日神宮⑤早大1勝1分  
早大0000030000003  
明大0000003000003

10月21日神宮⑥早大2勝1分  
明大000 000 0000  
早大001 100 00X2

◇東京六大学野球秋季リーグ戦勝敗表◇

順	大学名	勝	敗	分	勝点	勝率
①	早大	8	3	2	4	.727
②	明大	8	3	2	4	.727
③	法大	6	6	2	3	.500
④	立大	7	7	1	2	.500
⑤	慶大	5	7	1	2	.417
⑥	東大	2	10	0	0	.167

◇東京六大学野球ベストナイン◇

位置	選手名	所属	票	回
投手	伊藤樹	早大	13	2
捕手	印田健	早大	15	3
一塁手	前田健伸	早大	10	初
二塁手	熊谷陸	法大	9	初
三塁手	松山歩叶	法大	9	初
遊撃手	宗山晃	明大	満	4
外野手	尾瀬雄大	早大	15	3
〃	石郷岡大成	早大	10	初
〃	中山太陽	東大	10	初

※満票は16。回は受賞回数。松下は二塁手で1度受賞

◇東京六大学野球投手成績9傑◇

選手名(所属)	防	回	勝	敗	責
①渡辺和(慶)	1.17	54	9	3	2.7
②毛利(明)	1.53	29⅓	6	3	1.5
③伊藤樹(早)	1.80	60	8	6	1.12
④宮城(立)	1.84	29⅓	5	1	1.6
⑤篠木(法)	2.59	59	8	3	2.17
⑥宮城(立)	2.93	30⅓	8	2	1.10
⑦竹中(東)	3.16	42⅓	7	1	2.15
⑧渡辺(東)	3.72	36⅓	6	1	4.15
⑨鈴木	5.40	30	6	1	4.18

◇東京六大学野球打者成績10傑◇

選手名(所属)	打率	打	塁	打	塁	塁	塁	塁
①熊谷(法)	.471	11	34	16	5	0	0	0
②宗山(明)	.400	13	50	20	12	2	2	2
③尾瀬(早)	.388	13	49	19	5	0	0	0
④石郷岡(早)	.364	13	33	12	6	0	0	0
⑤印出(早)	.360	13	50	18	9	0	0	0
⑥斎藤大(立)	.359	12	39	14	5	1	1	1
⑦松下(法)	.352	14	54	19	13	5	5	5
⑧中山(東)	.341	12	41	14	4	1	1	1
⑨小島河(明)	.340	13	50	17	12	1	1	1
⑩前田(早)	.333	13	45	15	7	1	1	1

宗山が唯一!! 4度目のベストナイン受賞

東京六大学野球のベストナインが発表され、明大からは宗山選手が4度目の受賞となった。(満票は16票)

▽宗山塁遊撃手(満票＝4回)打率2位の.400、2本塁打、12打点。アマチュアを代表する遊撃手。

# 神宮に"おお明治"を響かせたい

4年生送別会に参加した選手たち



位置	選手名 (出身校)	進路
投手	浅利 太門 (興国)	日本ハム
	江口 陽太 (明大八王子)	日本M&Aセンター
	甲斐 敬太郎 (済々黌)	肥後銀行
	菊地 電雅 (常総学院)	Eiwa
	千葉 沙凱 (千葉黎蔭)	Honda
	藤江 星河 (大阪桐蔭)	JR北海道硬式野球クラブ
	松島 元希 (中京大中京)	GATE technologies
	森下 大夢 (沼津東)	静岡銀行
	山下 堅士朗 (長崎西)	Jリテールマネジメント
	山田 翔太 (札幌第一)	JR北海道硬式野球クラブ
捕手	中山 琉唯 (常総学院)	SUBARU
	花岡 秀太 (明大八王子)	三菱UFJ銀行
	加藤 巧也 (大阪桐蔭)	セガサミー
	佐藤 凜 (佼成学園)	大和ハウス工業
	杉崎 成 (東海大菅生)	JR東日本
	鈴木 将成 (明治)	明治
	染谷 駿斗 (明大中野)	八銀航空
	高田 直人 (明大八王子)	藤本
	高橋 晃大 (国学院大)	日本航空
	温品 直輝 (相模原)	神楽坂
内野手	元又 寛 (船橋)	大東
	宗山 寛 (船橋)	大東
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
	吉岡 佑真 (甲南)	中工務
外野手	飯森 太慈 (佼成学園)	東京ガス
	池田 航生 (桐蔭学院)	東武
	神井 宏志 (明大八王子)	三井不動産
	丸尾 快省 (花巻東)	三井不動産
	水内 陽太郎 (作新学院)	三井不動産
	山内 陽太郎 (作新学院)	三井不動産
	横山 陽太郎 (作新学院)	三井不動産
	兼 西田 大流 (横浜水取沢)	リクルート
	川越 菜 (明治)	ネットワンシステム
	原 将一郎 (明大)	ベイト
マ	大崎 未稀 (滝)	NTTデータグループ
	岸上 さくら (立命館慶祥)	本田技研工業
	小池 璃子 (桐)	JFE東日本

### 吉川会長が挨拶

OB総会と懇親会が1月13日、明大駿河台キャンパス内で開催された。午前中は理事会、総会が行われ、令和6年度の事業報告、同7年度の事業計画が報告された。来年度は役員改選の年ながら、リーグ創設100周年を迎える今年、前年から引き続き、いまだ企画や事業があるため、特例として役員体制はそのままに臨むことになった。

総会の冒頭では物故者へ黙祷を捧げ、挨拶に立った吉川芳登会長は「戸塚新監督を迎え、松岡さんにコーチをお願いして快語を得ました。皆さんの支援の元、神宮におお明治を響かせたいと思います」とOB会員へ野球部の応援を訴えた。駿台倶楽部賞の表彰式も行

### OB会懇親会で校歌を歌うOBたち

われ現役部員、OBらが表彰された。懇親会には150人を超えるOB、卒業生、木本圭一主将ら新幹部も参加。高田繁副会長の乾杯の首領で旧交を温めた。木本主将からは、頑張れよと先輩からエールが送られ、例年以上に盛り上がった。最後に応援団の指揮のもと、校歌斉唱で懇親会を締め

### 野球界に貢献した現役選手、OBに贈る駿台倶楽部賞が決定

▲現役▽宗山圭一主将、飯森太慈、木本圭一(ともに春のベストナイン) ▲岸上さくら主務、大崎未稀、小池璃子(副務) ▲西田大流(マネ&選手兼任) ▲川越菜(学生コーチ) ▲OB▽田中武宏前監督、福王昭仁(コーチ、森義人(新選前監督、育成成功労賞) ▲感謝状▽福本陽一(永年にわたる野球部への用具寄付、日本航空右川へ用具寄付) ▲25年度のスポーツ特別推薦合格者(以下の通り) ▲投手▽◎大泉聖翔(愛工大名電)1位72、73、左。◎田田琉碧(智弁学園)1位76、76、右。◎中村帆高(宇治山田商)1位86、85、右。◎平嶋桂知(大阪桐蔭)1位87、86、右。◎三田村悠吾(千葉学院)1位88、86、右。◎武藤陽世(仙台育英)1位79、77、左。◎山口瑛太(創志学園)1位73、75、左。

### 卒業40人中16人が野球継続

卒業する40人のうち野球を継続するのは16人。直井はNTT東日本、首位打者も獲得した飯森は東京ガスに入社し都市対抗を目指す。秋は4番を務めた杉崎はJR東日本に入社する。副将の中山はSUBARUへ。エース背番を背負った藤江はHonda熊本でエースを狙う。救援で活躍した千葉はHondaで昨年逃した都市対抗出場へ貢献を誓う。池田は独立リーグの徳島インディゴソックスへ入団、NPB入りを目指す。



## 4年間お疲れ様でした♡ 選手支えた女子マネ3人娘

### 12月にガムへ卒業旅行

春秋とも2位で終戦したが、選手たちを陰から支えたのが岸上さくら主務、小池璃子、大崎未稀の女子マネ3人娘。岸上は野球部初の女性主務として試合ではベンチ入りし、選手を鼓舞。試合前日には寮に泊まり込んで奮闘した。札幌からは母・文枝さんが上京。娘のために後方支援をかって出て、母子で激動の1年間を乗り切った。

小池は広報を一手に引き受けた。宗山がいたことでマスコミ、スカウ

ト等から問い合わせが殺到、スケジュールの調整など行き届いた対応が評判だった。「野球に携わりたい」とJFE東日本の野球部マネジャーとして入社。昨年末には寮に入って研修している。

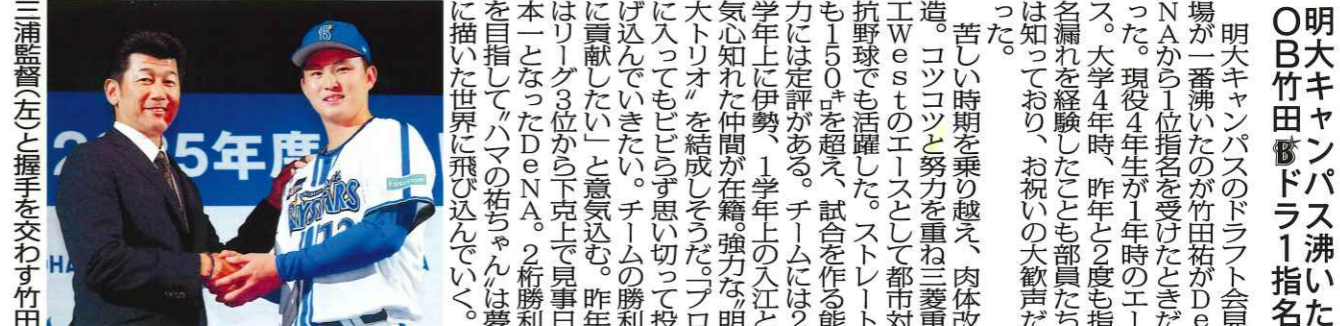
大崎は一番苦勞の多い経理部門を担当した。グラウンドに出る機会は少なかった分、部の運営に欠かせないお金の管理をしっかり果たした。津賀先輩理事の指導を受けながらは3人とも職務を全うした。12月には3人でガムへ卒業旅行に出かけるなど結束は固く、社会に出てからも

明大での経験を活かして羽ばたいていく。

岸上の話 野球部での4年間はかけがいのないものでした。関わってくれたすべての人に感謝します。

小池の話 野球部で貴重な経験をさせていただき、最高の仲間と毎日を過ごすことができました。

大崎の話 同期のマネジャーと過ごした時間は一生の宝物です。自分も成長することができました。感謝です。



## 明大キャンパス1位指名 竹田選手

### 全早明戦田上起死回生弾

常陸大宮市市制施行20周年を記念して12月1日に同地で全早明戦が開催された。明大は陶山勇軌(日本製鉄鹿島)藤江康太(茨城日産)高山陽成(JR東日本)のOB3人を加えた3年以下の部員で参加。スタンドには両校応援団も加わって神宮のムードで熱戦を後押しした。

試合は2番手で登板した湯田が3ランを浴び、高山がゴロを浴びて2点差で9回にマウンドには早大の抑え・田

### 浅利F3位指名 1年目から勝負

和がおり敗色濃厚と思われたが、9回2死一塁から代打田上(たのうえ)が起死回生の同点2ラン。その後も連打でチャンス築き途中出場の内海が中前にタイムリーを放ってサヨナラ勝ちした。この試合が初采配となった戸塚俊美新監督に勝利をプレゼント。「最後まであきらめる選手はおらず元気もあった。選手は良くやってくれた」と笑顔を見せた。観衆、主催者側も「劇的な試合。いい試合をありがとう」と最後まで明大の粘りに拍手を送っていた。

明大キャンパスのドラフト会見場が一番沸いたのが竹田がDeNAから1位指名を受けたときだった。現役4年生が1年時のエース。大学4年時、昨年と2度も指名漏れを経験したことも部員たちは知っており、お祝いの大歓声だった。

苦しい時期を乗り越え、肉体的改造。ゴツゴツと努力を重ね、三重Westのエースとして都市対抗野球でも活躍した。ストレートも150km/hを超え、試合を作る能力には定評がある。チームには2学年上に伊勢、1学年上の入江と気心知れた仲間が在籍。強力なプロ入りも視野に入っている。プロ入りも目指している。チームの勝利に貢献したいと意気込む。昨年はリーグ3位から下克上で見事日本一となったDeNA。2桁勝利を目指してハマの祐ちゃんには夢を描いた世界に飛び込んでいく。

①…日本ハムから3位指名を受けた浅利はホッとした表情を浮かべた。「六大学のオールスターで(ハムの本拠地)エスコンに行っている球場だと思った」と満足そうに笑顔を見せた。毎年、必勝祈願を行う東京・府中の大國魂神社で入団交渉。契約金6000万円、年俸1000万円(推定)で合意した。

153km/hに変化球も一級品。角度のあるボールが武器だ。「1年目から勝負するつもり」と北の大地で豪腕を披露するつもりだ。

宗山ヒストリー写真



生後1才と1日



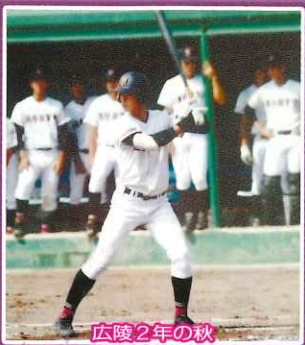
小学校1年生時



三良坂子一と父・伸吉さんと



小6時にカープジュニア選出



広陵2年の秋

# 宗山新人王目標



背番号「1」をアピールする宗山ドラフト会議後、胸上げされる

## 5球団競合 楽天入団へ

プロ野球のドラフト会議が10月24日に行われ、明大の宗山壘手は5球団から入札を受け楽天が指名権を獲得し入団した。契約金1億円、年俸1600万円推定、背番号は1と決まり、新人王目指して年明けから自主トレ&キャンプに汗を流している。また153キロ右腕、浅利太門投手は日本ハムが3位指名。入社3年目の三菱重工Westの竹田祐投手はDeNAから1位指名を受けた。(関係記事6面)



「誰からも応援される選手に」  
5球団による抽選の結果、楽天が宗山の交渉権を獲得した。見守る4年生たちが歓声をあげる中、宗山の表情はまったく動かない。「同僚や仲間、後輩がまだ指名を待っている。自分だけ喜ぶわけにはいきません」。同じく指名を待つ浅利や六大学の仲間、広陵のチームメイト渡部(大商大)や高校の後輩・高尾らを気遣うもの。いかにも宗山らしい配慮だった。

入学してほぼ全シーズンユニホームを着て神宮を沸かせてきた。3年時と前を向く。チームには明大の先輩であるベテラン阿部、島内、中堅の渡辺佳らがおろけ込みやすい環境はできている。遊撃手には侍JAPPA Nに選出された村林一輝(27)がいる。昨シーズンは139試合に出場し

打率・241を残しレギュラーの座をつかんだ。ポジションを奪うにはオープン戦で結果を残し、首脳陣にアピールするしかない。「もちろん覚悟はできています」とオフも練習に汗を流してきた。ベストナイン4回に通算118安打の実績。明大の主将を務めた「人間力」に広陵・中井監督から授かった「他喜力」の言葉を胸にプロの世界に飛び出していく。

今年クレムリンレックスのユニホーム、背番号「1」をまとってプロの世界に入る。誰にも応援される、球場に来て宗山を見たいと思ってもらえる選手になりたい。もちろん開幕スタメン、新人王を目標に頑張りたいと前を向く。チームには明大の先輩であるベテラン阿部、島内、中堅の渡辺佳らがおろけ込みやすい環境はできている。遊撃手には侍JAPPA Nに選出された村林一輝(27)がいる。昨シーズンは139試合に出場し

紙面編集 齋木 駿